

ははきぎ



2008.7.10 発行

常三島支部執行委員会

組合定期大会報告

7月5日(土)に徳島大学附属病院2F中会議室にて第5回定期大会が開かれました。当日は代議員、執行部以外の組合員の参加が多数あり、労働条件の改善方策を中心とした活発な議論が展開されました。特に事務職員や看護婦の労働環境を改善するために、組合が取り組んでいくべき課題が焦点となり、今年度の組合の活動方針が明確となる大会となりました。また、組合の存在を広く知ってもらい、組合の活動を幅広い教職員が支えるための、準組合員的な制度を設け、例えばメールマガジンの発行を行うなどのアイデアも出されました。

議論の過程において、第4号議案である2008年度の活動方針にいくつかの事項が追加され、議案が全て全代議員の賛同により承認されましたので、以下に変更点をご紹介します。(下記ゴシック記述の文章)
議案書 p.15 項目 3)人件費削減に反対し、教職員の労働条件の改善や地位の向上の取り組みを進めます。

⑥組合として労働相談を設けることを検討する。

⑦定員削減や労働状況の具体的な調査を実施し、その問題を分析し、改善できるように取り組みます。

5)職域を越えた職場の支援ネットアーク

として職員交流の機会を提供します。

組合員以外の教職員においても情報交換の場を提供します。

議案書 p.16 労使関係、労働条件の改善について

⑫本学の人権委員会が教職員が真に相談しやすいものとして機能するよう改善すること

今後も、活発な組合活動を通じて、望ましい労働環境を実現していきましょう。

アンケートのお願い

このははきぎと同時に「国立大学教員の研究・教育・勤務条件に関するアンケートのお願い」を配布しています。全国大学高専教職員組合(全大教)が行っているもので、各大学ごとの集計を大学ごとに分析を行い今後の組合活動に生かすとともに、全大教が集約して教育・研究環境や勤務条件の実情を把握し、その改善を図ることを目的として実施するものです。組合活動の基礎資料となりますので、お手間とは思いますがご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

7月18日(金)までに、組合事務室(総合科学部1号館北棟1階西端の部屋)前にあるポストに投函するか、常三島支部役員(斉藤、沼子)へご提出いただきますようよろしくお願いいたします。